


天井型システムフード KBP型 設置工事説明書


工事をされる方へ

いつも当社製品をご利用頂きまことにありがとうございます。
この機器を正しく安全に使用していただく為に、この「設置工事説明書」をよくお読み
頂き正しく工事して下さい。この「設置工事説明書」に記載されている以外の設置が
原因で生じた故障及び損害、人身事故は工事者の責任になります。また、保証期間内
でも保証の対象となりませんのでご注意下さい。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取付け、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

 **警告** : 人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

警告

- | | |
|---|---|
| ● 修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造をしないこと。
発火や感電・異常動作によるけがのおそれがあります。 | ● 仕様電源以外では使用しないこと。
火災・感電の原因となります。 |
| ● アースを必ず取り付けること。
故障や漏電の時に感電することがあります。 | ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規定にしたがって、安全・確実にこなうこと。
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。 |
| ● 室内循環型の場合は、火気換気必要量に見合う換気を必ず行なって下さい。
火気換気必要量は人が生きていく為の最低限の換気量です。 | ● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施工令)及び消防法などの関連法規にしたがって工事する。
火災などの原因となります。 |
| ● フード本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。
詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください。 | |

注意

- | | |
|---|---|
| ● 運転中は指や物を絶対に入れないこと。
けがをすることがあります。 | ● ファンや部品の取付は確実にこなうこと。
落下により、怪我をするおそれがあります。 |
| ● 本体の取付は十分な強度があるところを選んで確実にこなうこと。
落下により、怪我をするおそれがあります。 | ● 取付の際は、必ず厚手の手袋をすること。
鋼板の切り口や角で怪我をするおそれがあります。 |

取付前の調査と準備

1. 取付面の強度確認

十分な強度を持った天井面に取付けて下さい。
強度が不十分ですと落下の危険があります。補強処置を施してから取付けて下さい。

2. 部材の準備

パブルフィルターフードKBP型は、1. KBP本体 2. SUSフード 3. 自動給水ユニット からなりますが、
排気工事に応じた別売部材を事前に準備してください。(送風機・配管部材他)

3. 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、調理器具の上面からKBP本体下部まで 100cmです。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下側が調理器具の真上80cm以上必要となっています。

4. 電源コンセント、ブレーカー

電源コンセント、ブレーカーは専用のものを設置して下さい。送風機の選定によって電圧が変わります。

	重さ
KBP-700M	40kg
フード※	48kg

※KBP-700M用バランス型点検口前面のみの場合

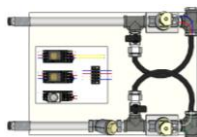
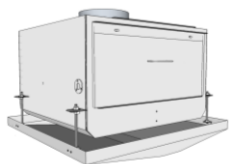
KBP本体

SUSフード

給水ユニット

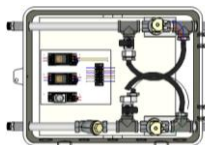
送風機

システムフード部材



給水制御盤
(本体取付タイプ)

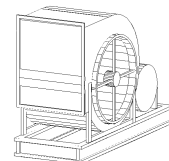
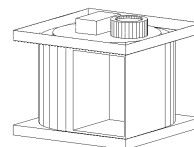
給水制御ボックス
(本体別置タイプ)



別売部材

シロッコファン

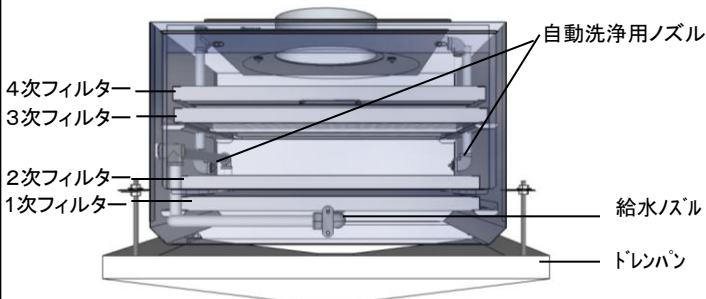
排煙ファン



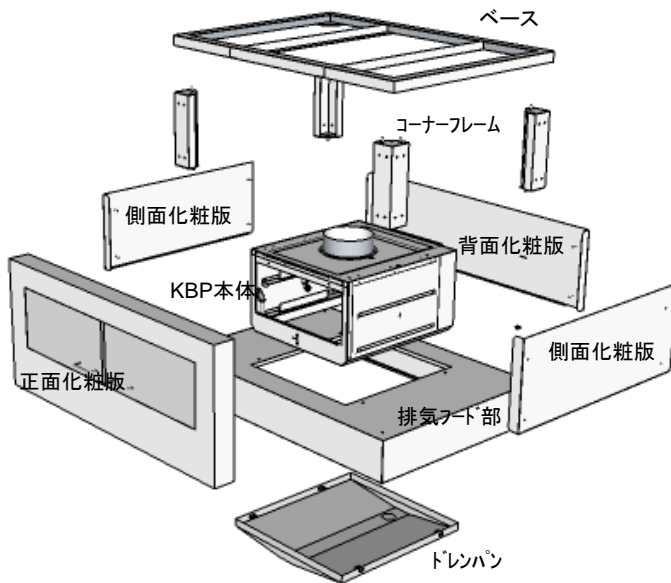
処理風量及び設置場所による騒音考慮の上、機種選定

KBP-M 型本体 各部の名称

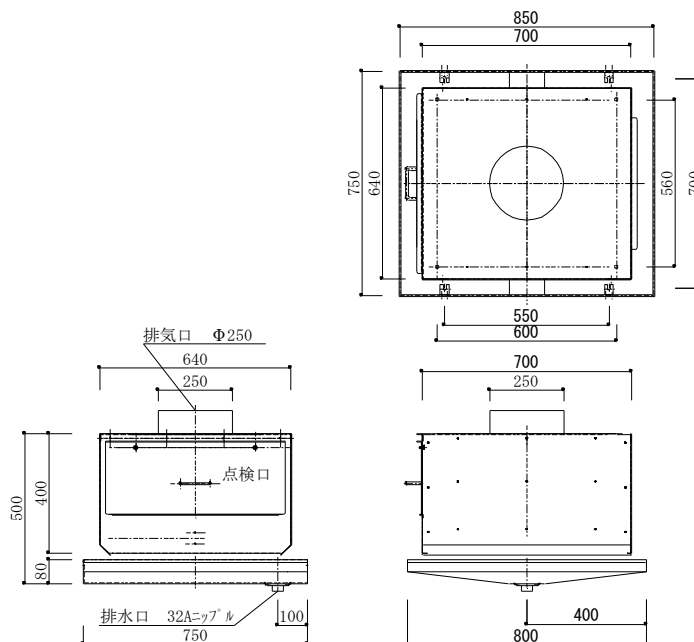
フード部 各部の名称



- ※1 上板は形式により開口形状が異なります。
- ※2 自動洗浄用噴霧ノズルの取付位置は 形式により異なります。
- ※3 給水用噴霧ノズルの取付箇所は、形式により異なります。

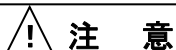


製品寸法図(KBP-700M 400H)



取り付けかた

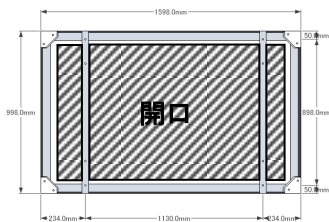
1. 天井の開口 ベース取付け



- 本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に
おこなうこと

落下により、けがをすることがあります。

1. 天井ベースの外形寸法図参照の上、天井開口位置及び吊ボルト
取付位置を決定します。

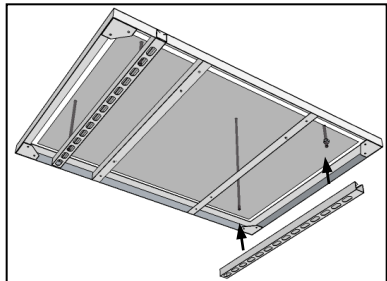


2. 天井を開口します。

3. 吊ボルトの取付位置にアンカー(現地手配)を確実に取付けます。

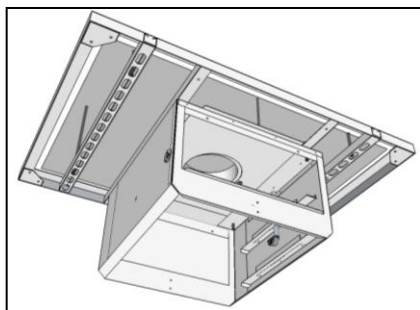
4. 吊ボルト(現地手配)をアンカーに取付けます。

5. 天井ベースをダクターチャンネル(現地手配)ではさんで固定する
ように、ダクターチャンネルを吊ボルトで固定します。

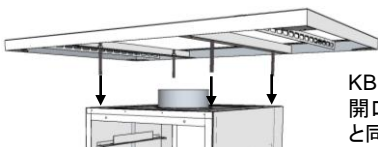


※天井ベースの固定方法は、天井材等により、変更する場合がありますが、十分な強度を保てるように確実に取付けてください。

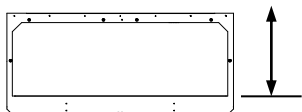
2. 本体の取付け



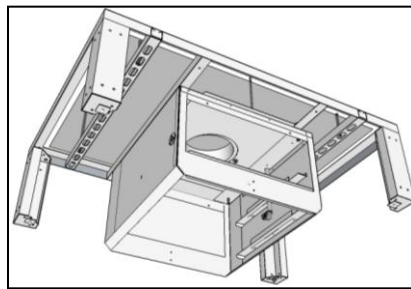
1. 天井ベースの本体取付穴と、本体の取付穴とを、吊ボルト(現地手配)
で繋ぎます。



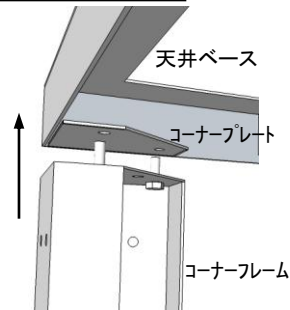
KBP本体の取付高さは、前板の
開口の下端が排気フード部の上端
と同じ高さになるように取付けます



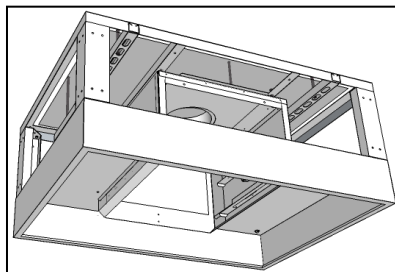
3. コーナーフレームの取付け



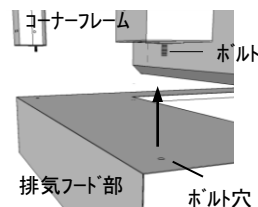
1. 天井ベースのコーナープレートの
ボルト穴にコーナーフレームに溶接
されたボルト(M8)を差込み、
ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで
固定します。



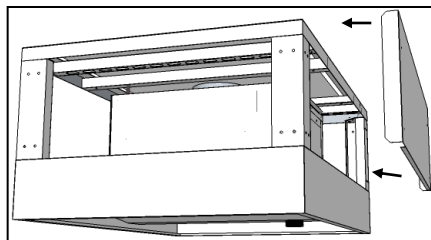
4. 排気フード部の取付け



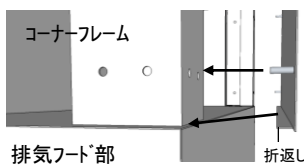
1. コーナーフレームの底に取付けられた
ボルト(M8)を排気フード部の4隅の
ボルト穴に差込み、ワッシャー・スプリング
ワッシャー・ナットで固定します。



5. 背面化粧版の取付け

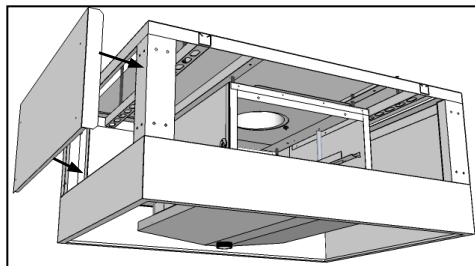


1. 背面化粧版のスタッドビス(M6)
をコーナーフレームのビス穴に差込み、
同時に下部の折り返しをコーナ
ーフレームと排気フード部の間(スペーサ
ーによる隙間)に差し込みます。差
差し込んだビスは、ワッシャー・スプリング
ワッシャー・ナットで固定します。



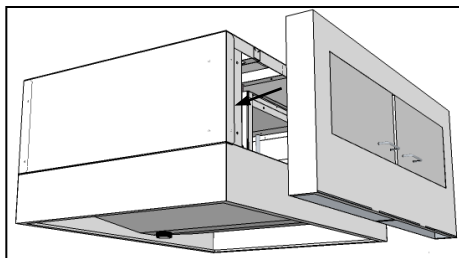
取り付けかた

6. 左右化粧板の取付け



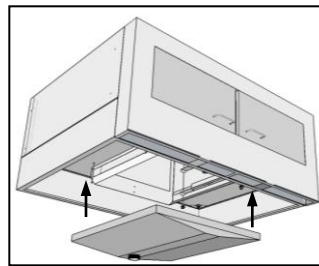
1. (5. 背面化粧板の取付け)と同様の取付方で背面化粧板を取り付けます。

7. 正面化粧板の取付け

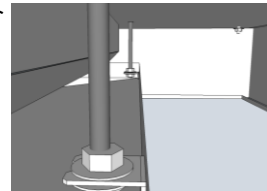


1. 正面化粧板のスタッドビス(M6)をコーナーフレームのビス穴に差込み、ワッシャー・スプリングワッシャー・ナットで固定します。

8. ドレンパンの取付け

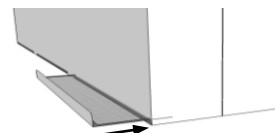


1. 排気フード部のドレンパン吊穴から、吊ボルトを垂らし、ドレンの吊金具に差込み、ワッシャー・ナットで固定します。



9. 給気フィルターの取付(バランス型の場合)

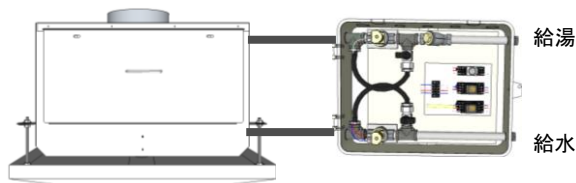
1. 正面化粧版下部の給気部に給気フィルターを差し込みます。



配管

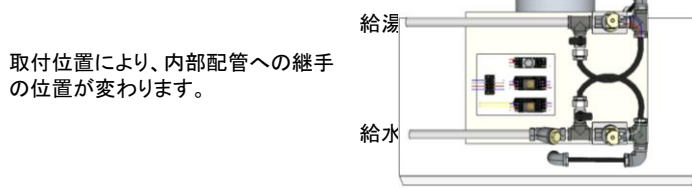
＜給水制御ボックス仕様の場合＞

1. 給水制御ボックスを任意の場所に取り付け、温水器及び水道管へ配管します。
2. KBP本体の給湯用取出金具、及び給水用取出金具へ配管します。



＜給水制御盤本体取付仕様の場合＞

1. KBP本体にとりつけられた給水ユニットから、温水器及び水道管へ配管します。



取付位置により、内部配管への継手の位置が変わります。

電気配線



警告

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って、**確実に**行なうこと。
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。
- 交流100V以外で使用しないこと。
火災・感電の原因となります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

＜給水制御ボックス仕様の場合＞

給水制御ボックス内の端子台に電源・スイッチ・送風機の線を誤りの無いように配線します。

※自動洗浄給水装置取付要領参照(ボックス蓋に添付)

＜給水制御盤本体取付仕様の場合＞

給水制御盤の端子台に電源・スイッチ・送風機の線を誤りの無いように配線します。

※自動洗浄給水装置取付要領参照(別紙)

排水

※ 排水は、トレイの32A目皿栓(又は40A)からグリストラップへ配管して下さい。

※ 火源より上の管材は必ず鋼管材を使用して下さい。

試運転

- スイッチを操作して運転状態を確認してください。
- ノズルの噴霧状態・排水状態を確認してください。
- 異常な騒音・振動がないことを確認してください。
- 正常に排気されていることを確認してください。

CLIE 株式会社 クリエ

本社: 〒432-2102 静岡県浜松市北区都田町7852-17
工場: 〒932-0825 富山県小矢部市島114

TEL: 053-428-0551 FAX: 053-428-0552
TEL: 0766-67-4898 FAX: 0766-67-4988